

21 東京法学院近況

〔法学新報〕第二四号 明治二十六年三月二十日〕

○東京法学院

都下数多ある法律学校中にて学科整然として講師亦其人を得、
年々の卒業生は其多数なるにも拘はらず或は判事となり或は代言人となり社会の信用尤も厚き東京法学院にては爾今一層規模^{マニ}を拡張し教務諸般の改善を庶幾し益々育英の道を恢張し大に内外の信用を發揮せんことを企て既に先月来より実行しつゝありと云ふ其れかあらぬか昨今は非常に入学者多く教務係ハ忙殺さる、程なりと云ふ